

Child Aid (チャイルド・エイド)

ープロジェクト詳細ー

開発インストラクターとなるみなさんへ

この「プロジェクト詳細」では、まずチャイルド・エイドの 10 の目標に沿って、プロジェクトの一般的な内容を紹介します。次に、活動の具体例や組織構造を説明していきます。

チャイルド・エイドは、全てのプロジェクトで同じ組織形態をもち、同じ 10 の目標を行います。が、コミュニティの要求や土地柄によってそれぞれに特徴があります。

DI (開発インストラクター-Development Instructor の略称。ボランティア。プログラムに参加した学生のこと) は、コミュニティやプロジェクトの必要に応じ、予算の範囲内で様々な課題に取り組みます。ときには新しいプロジェクトを起こし、活動を始めることもあります。その場合、活動実施のために、新しい支援者とパートナーシップを結ぶことになるでしょう。

また、DI はエリア・リーダー、村のアクション・リーダーのトレーニングを行ったり、小中学校の教師に向けたコースを開いたりします。活動は DI が主体的に行いますが、内容はコミュニティの要求により左右されます。さらに、寄付者や関係機関に向け、プロジェクトに関するレポートや書類をたくさん作成することになります。



1. イントロダクション

Humana People to People (以下 Humana) がチャイルド・エイドを開始して 17 年が経ちました。

以下、UNICEF の記事を引用します。

『1990 年代、10 億の子どもたちが病気や飢餓で命を落としました。この子どもたちは、天災や飢饉による被害者ではありません。テレビやカメラは子どもたちの死を伝えず、この悲惨な状況が世界の人々に知られることはありません。

この現状はテクノロジー、経済、福祉にとって最優先とみなされていません。しかし、あらゆる資源を投入すれば現状を変えられるはずです。』(UNICEF 1990)

1990 年以降、子どもたちの過酷な状況が世界中に知られるようになり、統計は改善を示すようになりました。しかし、未だに何百万もの子どもたちが貧困により命を落としています。マラリアや HIV/ AIDS は恐ろしく、死亡者数は減少の傾向をみせません。世界中のどこであろうと、飢餓が存在すれば、子どもたちが苦しんでいるということです。教育システムが崩壊すれば、子どもたちの未来への可能性は奪い去られます。給水システムの衛生管理が不十分であれば、子どもたちは病気になります。感染症や病気が蔓延すれば、子どもたちは命を落とします。飢餓が起これば、栄養不足となります。両親を HIV/AIDS で亡くせば子どもたちは家族を失います。

新しい世紀が始まり、国連により MDG (The Millennium Development Goals。ミレニアム開発目標) と呼ばれる 15 年の改善計画が立てられました。MDG では貧困、飢餓、HIV/ AIDS の根絶や、環境や男女の権利の平等に対する改善が掲げられました。これらの目標は、子どもの死亡率を減らすことに繋がります。

今日では、月に飛んで行くことができる人もいれば、電話ひとつで臓器を移植できる人もいる世の中です。これまでに使われたことがないような人材や能力を駆使すれば、何かを変えることは可能なはずです。

チャイルド・エイドは子ども、家族、コミュニティを取り巻く環境の改善や、子どもの生活レベルの向上や可能性を伸ばすことを目標としています。

チャイルド・エイドは、Humana が定めた下記に示す 10 の目標達成に向け取り組みを行っています。活動は体系的に組織され、行われています。

10 の目標

- 1: 家族の経済面の強化
- 2: HIV/ AIDS 撲滅のための健康と衛生管理
- 3: 幼児教育の充実
- 4: 政治的、社会的、文化的な子どもの立場を強化
- 5: 孤児、困難な状況にある子どもの保護
- 6: 教育の充実

- 7: 緩やかな開発
- 8: 環境保全
- 9: (各地域における目標)
- 10: (各地域における目標)

子どもたちのための取り組み

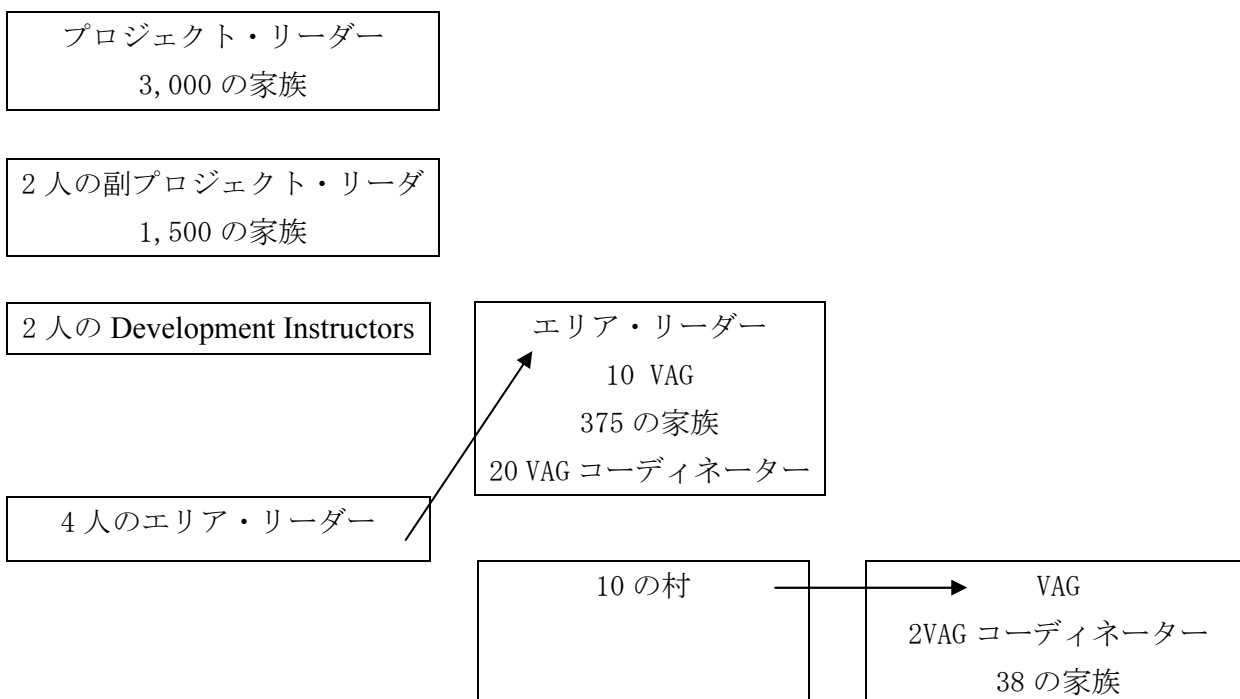
子どもたちのための闘いは、短期間では終わるものではありません。コミュニティ全体や子どもたちの生活環境を整えるため、長い時間や労力を費やす大変なものです。そのためには、国や世界レベルでの取り組みが必要となります。この取り組みの主役は子どもたちであり、子どもたち自身もチャイルド・エイドのプロジェクトを動かす一員なのです。

家族のための取り組み

チャイルド・エイドの中心となる取り組みは、週ごとにトレーニングを受け、活動を行う 35~40 の家族から構成されるヴィレッジ・アクション・グループ (VAG) です。各ヴィレッジ・アクション・グループには、エリア・リーダーとプロジェクトスタッフからトレーニングを受けた男女各 1 名のコーディネーター 2 名がいます。エリア・リーダーとプロジェクトスタッフは、週のミーティングや活動を行います。

チャイルド・エイドでは 3,000 の家族が参加しており、8 エリア、10 のヴィレッジ・アクション・グループに分かれています。このヴィレッジ・アクション・グループは所属する委員会と協力し、問題解決や活動を分担して行います。ここに挙げた委員会は孤児、農業、水と衛生管理、HIV などの委員会も含まれ、ミーティングは地域の学校やコミュニティの設備を使って行われます。

チャイルド・エイド プロジェクト



プロジェクトはプロジェクト・リーダーと、副プロジェクト・リーダーによりリードされます。プロジェクト・リーダーと副リーダーは、10のヴィレッジ・アクション・グループを構成する375家族を担当する、4名のエリア・リーダーをトレーニングします。

DIもプロジェクト・リーダーと副リーダーと同様にフィールドで人々を動かし、アクションを起こし、問題解決のために人々をトレーニングします。

概要

チャイルド・エイドは5年間のプログラムで、家族やコミュニティ、子どもたちを体系化し、子どもたちの生活状況を改善し可能性を伸ばすよう活動を行います。

チャイルド・エイドのプロジェクトは、3,000の家族を地理的に区切っています。アプローチ方法は生活におけるすべてに渡るトータル・アプローチと呼ばれるもので、コミュニティの強化に繋がります。このトータル・アプローチには、チャイルド・エイドのプロジェクト共通の10の目標があります。



2. チャイルド・エイドの10の目標

チャイルド・エイドの10の目標は、子どもたちの将来に向けた開発を目指すもので、子ども、家族の置かれている環境や健康状態の改善のための活動が行われます。このうち8つは全プロジェクト共通の目標で、残り2つはコミュニティの必要に応じた目標が立てられます。

目標 1

家族の経済面の強化

目標 1 では、健康を保つため、バランスの取れた3回の食事を守るためのトレーニング、家族の経済状況のコントロール、農業やその他による収入の増加に関するトレーニングも行います。

目標 2

HIV/AIDS 撲滅のための健康と衛生面

目標 2 では、健康状態を保つため、乳幼児の死亡者数を減少させるため、コミュニティ全体、家族に対しトレーニングを行います。また、清潔な水へのアクセス、衛生面でのトレーニングも行います。

目標 3

幼児教育の充実

目標 3 では、Humana による幼児教育に関してコミュニティや家族に説明を行うことと、幼児教育の実施にあります。幼児教育のターゲットはエリア内の子どもだけではなく、教員の養成も含まれます。

目標 4

政治的、社会的、文化的な子どもの立場を強化

目標 4 では、地域の開発を行い、それにともない子どもたちがのびのび過ごせるような環境を作れるよう活動をします。

目標 5

孤児、困難な状況にある子どもの保護

目標 5 では、孤児や困難な状況に置かれる子どもたちがコミュニティに登録され、身体的、社会的、精神的に保護を得られるようにサポートを万全にします。

目標 6

教育の充実

目標 6 では、学校に行く年齢のすべての子どもたちが学校に通えるようにします。エリア内の子どもたちが継続して学校に通えるよう教授法、改善点のまとめ、識字率の調査などを行い環境を整えます。

目標 7

緩やかな開発

目標 7 では、緩やかな開発により人々を動かし、コミュニティに良い影響を与えるようにします。

目標 8

環境保全

目標 8 では、環境に関する学習や実践的活動を行います。

目標 9, 10

地域における目標

目標 9 と 10 は、プロジェクトのある地域の必要に応じた目標が設定されます。

3. チャイルド・エイドでの開発インストラクターの仕事

これまでに述べた内容からわかるように、チャイルド・エイドで活動する DI は、必要に応じた幅広い活動を行わなければなりません。プロジェクトの意向により内容の変更がされることもあるでしょう。ですので、必要に応じ柔軟に動けるようにしておきましょう。

チャイルド・エイドで活動するということは、生活に必要な物資のあまりない農村地域で生活することを意味しています。プロジェクトは少ない資金で運営されているため、資金には制限があります。そのため、想像力が必要とされ、移動は徒歩、自転車もしくは公共の乗り物を使うことになります。

チャイルド・エイドは、家族の基本的生活の向上を目指しています。活動はコミュニティの人々が一緒に何かをするよう考慮され、コミュニティ内で菜園や堆肥（コンポスト）を作ったり、トイレや幼稚園の施設を建設したりします。DI は、プロジェクトにとって重要な実践活動を先頭に立ち行います。

DI は教師、主導者、管理者となり実践活動を行います。また、DI はレポートを書いたり広報活動をしたり、家族と話し合いを持ったりします。プロジェクトにてユース・クラブのリーダーや、幼稚園教師やヴィレッジ・アクションのコーディネイターや、コミュニティの人々をトレーニングします。

DI にとってチームワークはとても重要です。DI はプロジェクト・リーダー、副リーダーの指導の下で働くこととなります。また、リーダーたちの話をよく聞くことも重要です。DI は様々な問題と向き合うことになるため、想像力、粘り強さ、我慢強さが必要とされます。このような場合、プロジェクト・リーダーとの協力がとても大切になります。DI のタスクは多岐にわたり、繰り返し改善を必要とする場合もあるでしょう。

4. DI の活動例

ここでは、チャイルド・エイドの10の目標に沿った活動を具体例を挙げて説明します。



都市部にあるチャイルド・エイド・プロジェクトでは、ボランティアによるカウンセラーや検査センター、末期患者のための自宅ケアが行われており、HIV/AIDS に対するサポートが広く普及しています。DI は上に挙げたようなサポートを行うボランティア・ワーカーのトレーニングを行ったり、コミュニティの人々を動員して演劇をしたり、家を一軒一軒回り歌を披露するなどの活動を行ったりします。



農村地帯で降水量が少なく、土壌が乏しい地域にあるチャイルド・エイド・プロジェクトでは、水質管理や植林活動、持続可能な農業メソッドなど環境改善に焦点を絞って活動を行います。多くのプロジェクトで植林活動が行われ、この活動を通してコミュニティ内の収入創出活動を行うことも可能です。DI は井戸から水を引くためのロープ・ポンプを組立たり、構造や組み立て方を教えたり、菜園に水を引く方法を教えたりすることになります。

全てのチャイルド・エイド・プロジェクトでコミュニティの家族の健康と衛生面の改善に力を入れて活動していますが、活動内容は状況により様々です。活動例はビレッジ・アクション・コーディネーター、エリア・リーダーのトレーニングやレッスンになります。また、マラリア予防や清掃活動、食器用の水切りかごの設置や薪を節約できるストーブ使用に普及関する活動をコミュニティのメンバーとともにを行います。

現金収入に関する活動はチャイルド・エイドにおいて重要で、その活動内容も多様です。農業地域では実用的農作業や綿産業に焦点を絞ります。都市部では、小規模のビジネスを起こせるようスキル・トレーニングを行います。しかし、全エリアで菜園を持ち、果物や野菜の栄養素について学習を行うことは共通しています。DI は、様々な活動を現金収入のチャンスと連動して行えるようにしましょう。

エリアによっては、全ての子どもたちが学校に通える状況を作り出すのが困難な場合があります。その原因は制服代や教育費といった問題です。また、校舎や教育システムの改善も必要とされています。いくつかのエリアでは、地域の小学校と連携してレッスンを行ったり、教師のトレーニングを行ったりしています。また、チャイルド・エイド・プロジェクトは、子どもの父親、母親を対象に成人の識字教育も行います。ですので、DI は子ども、教師、保護者のためのコースを受け持ったり、教室の準備、確保を行ったりします。

チャイルド・エイド・プロジェクトでは、常に地域のリーダーとともに活動を実施し、時には、コミュニティ内で活動する似た目的を持つ別の組織と協力して、プロジェクトを遂行することもあります。また、プロジェクトは支援者と一緒に活動を行いますので、DI は支援者の担当者のホスト役も務めることとなります。

幼稚園はチャイルド・エイドに欠かせないプロジェクト内容であり、プロジェクトによっては1,000人を超える子どもたちを抱えます。また、エリアにはモデル校があり、エリア内の他校と連携を取り、指導を行ったりします。DI は、新幼稚園の開設や教師育成のためトレーニング、子どもの入学手続きを行います。

さらに、学校終了後のユース・クラブもチャイルド・エイド・プロジェクトの活動の1つで、DI の担当範囲になります。

ここで述べた内容は主な活動内容であり、この他にも様々な活動があります。



5. どうすれば役に立つことができるか

DRH スクールでプログラムを行い、DI としてチャイルド・エイドで活動するには、DRH スクールに滞在中に、主に下記のような準備が必要です。

1. チャイルド・エイド・プロジェクトのマニュアルや組織構造をしっかりと理解しましょう。
2. 健康管理をしっかりと行いましょう。適度な運動も行い、アフリカでの仕事や長距離のウォーキングや、自転車での移動に備えましょう。

3. 物事を企画・運営し、人々をうまく動員する能力や問題解決の能力を養いましょう。
4. 成人、青年、子どもたちに対して、コースやトレーニング・セッションを行うための準備をしておきましょう。
5. DI として働く間、健康状態を保てるよう、また活動に必要な能力を発揮できるだけのトレーニングを積んでおきましょう。
6. もしポルトガル語を話す国に行く場合は、英語が通じないため、しっかりポルトガル語を勉強しておくのが大切です。
7. 活動に使う情報や資料を集めることや、レポートや統計を作成するためのスキルも身につけておきましょう。

5. プロジェクト期間に関して

プロジェクト期間は 25 週あり、各週の詳細は下記に示します。

ピリオド 1 : 最初の 6 週間

プロジェクトの一員となり、人々に紹介されて与えられたポジションで仕事を開始します。

ゴールデン・カット・ミーティング

最初の 6 週間が過ぎると、プロジェクト・リーダーがプロジェクトを評価します。DI はこれまでの活動結果を報告し、進行状況について説明します。

タスク・フォース・ミーティング

この週では地域、もしくは国レベルで DI が集まり、実践的な活動を行います。この活動は地域、もしくは国のリーダーにより計画されます。タスク・フォース・ミーティングは決まった時期はなく、派遣期間中ふさわしいと思われるタイミングで行われます。

休暇と研究の週

この週では、DI は自分の選択で派遣国内を旅行することができます。業務の進行状況やタイミングを考慮して計画し、プロジェクト・リーダーの許可を得て旅行することになります。

ピリオド 2 : 15 週間

この 15 週間の間、DI はこれまでの業務を継続して行い、期間の終わりには自己評価をして最終レポートをまとめ発表します。プロジェクト・リーダーや関係者と一緒に、レポートの内容について議論をします。最後に、これまでの担当業務を次の DI に引き継ぎ、事後研修期間に入ります。

週末

週末の活動は、プロジェクト・リーダー、DI、プロジェクトの責任者で計画を立てます。ひと月の週末の活動例は下記の通りです。

- ・ プロジェクトの特別活動やイベントは生徒、スタッフ、DI で行う。
- ・ 地域内の2~5つのプロジェクトで、まとまって活動をしたり、達成度や計画についてミーティングを開いたりする。
- ・ ビルディング・ウィークエンドは全員が参加するプログラムで、建物や外のメンテナンスの修理と建設を行う。プロジェクト・リーダー、DI、その他の担当者が計画を立てて準備し、プロジェクト関係者が参加する。
- ・ 自由に週末を過ごす。

レポート

DI として、下記の内容に関して発表や話し合いを行うことになります。

- ・ 週次レポート
- ・ 月次レポート
- ・ 中間レポート
- ・ 最終レポート
- ・ 「研究の週」で行った事に関するレポート

7. 最後に

今回は、チャイルド・エイド の仕事に関する一般的な事柄を説明しました。一読したことで、どのような仕事があるか理解して頂き、チャイルド・エイドで活動したいかどうかを考え、出発に向けた準備を始めることができたのではないのでしょうか。

このチャイルド・エイドに関する「プロジェクト詳細」を一読し、次に行うことは、プロジェクト・リーダーに対するプレゼンテーションを準備することです。このプレゼンテーションの準備は、DI が開始してから3ヶ月が過ぎた時にある、「ミッドウェイ・ミーティング」の課題でもあります。

そして、このプレゼンテーションは、チームメイト、担当の指導教員、ヘッドマスターにより審査され、認められた後にプロジェクト・リーダーへ送られます。その後、プロジェクト・リーダーはプロジェクト内の特定した業務範囲、業務計画を派遣の約2ヶ月前に連絡してきます。ですので、この出発までの2ヶ月で精神面、肉体面、スキルなどを鍛え準備を整えることができるでしょう。

あなたが最善の力を発揮し、成功をつかめますように・・・